

令和5年度

病害虫発生予察情報

第6号

5月月報

北海道病害虫防除所 令和5年(2023年)6月21日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

—高気圧に覆われて晴れた日が多く、歴代1位の少雨—

5月は、全道的に高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、まとまった雨の降る日が少なかった。このため、全道的に降水量はかなり少なく、月降水量の平年比は1946年の統計開始以降、北海道地方では少ない方から1位、オホーツク海側では少ない方から2位の記録となった。また、全ての地域で月平均気温は平年より高く、月間日照時間は平年より多かった。

上旬：低気圧や前線の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われた日が多かったため、降水量は平年より少なく日照時間は日本海側が多かった。北からの冷たい気流の影響を受けた日もあったが、暖かい空気に覆われやすかったため、気温は平年より高かった。

中旬：高気圧に覆われた日が多く、低気圧の影響を受けにくかったため、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は日本海側とオホーツク海側が多かった。北からの冷たい気流の影響を受けた日もあったが、暖かい空気に覆われやすかったため、気温は平年より高かった。

下旬：低気圧や前線の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われた日が多かったため、降水量は平年より少なく、オホーツク海側と太平洋側では日照時間は平年より多かった。また、南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は北海道地方とオホーツク海側で平年より高く、太平洋側でかなり高かった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.2	高	43	か少	118	多
日本海側10 地点平均	+0.8	高	52	か少	118	多
オホーツク海側4 地点平均	+1.8	高	31	か少	123	多
太平洋側8 地点平均	+1.4	高	38	か少	115	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稲

1. ヒメトビウンカ 発生期 並 (第1回成虫) 発生量 並 (第1回成虫)

予察田の畦畔すくい取りによる第1回成虫の初発期は、長沼町で5月2半旬(平年:5月3半旬)と平年よりやや早く、比布町で5月4半旬(平年:5月4半旬)、北斗市では5月3半旬(平年:5月3半旬)と平年並であった。畦畔すくい取りによる成虫の捕獲数は、長沼町で平年よりやや多く、比布町および北斗市では平年並であった。

月・半旬	長沼町				比布町				北斗市			
	幼虫		成虫		幼虫		成虫		幼虫		成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	4.7	0	1.9	2.5	8.6	0	0	0	1.5	0	0.5
2半旬	0	4.2	7.5	12.1	7.5	2.2	0	0	0	1.3	0	0.3
3半旬	0	1.6	70.0	13.0	2.5	7.2	0	1.1	0	0.5	3.5	1.3
4半旬	0	0.5	6.3	12.9	10.0	3.1	52.5	17.2	0	0	5.0	4.3
5半旬	0	0.4	1.3	6.2	5.0	1.5	45.0	56.8	0	0.3	2.5	2.8
6半旬	0	1.8	6.3	5.0	0	1.5	5.0	48.4	2.5	0.3	2.5	3.5
平年数	10				10				10			

注) 20回振り×5日分換算値

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生期 やや早 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町と芽室町では平年より早く、訓子府町では平年より遅かった。発生量は、いずれの地点とも平年並であった。

一般ほにおける巡回調査結果では、上川地方で発生が認められた。

予察ほにおける赤さび病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月5日	4月20日	10
芽室町	きたほなみ	4月28日	5月13日	10
訓子府町	きたほなみ	5月26日	5月15日	10

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.08	0.05	0.02	0.13	0.12	0.77	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.02	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.00	0.16	0.25	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00	0.02	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.01	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.00	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		病葉率(%)				普及センター		病葉率(%)				
		5月3半旬		5月6半旬				5月3半旬		5月6半旬		
		本年	前年	本年	前年			本年	前年	本年	前年	
空知	本所	0	2.7	0	0	留萌	本所	0	0	0	0	
	南東部	0	0	0	0		網走	本所	—	—	0	0
	南西部	0	0	0	0			清里	—	—	0	0
	北空知	0	0	0	0			網走	—	—	0	0
石狩	本所	0	0	0	0	美幌		—	—	0	0	
	北部	0	0	0	0		遠軽	—	—	0	0	
後志	本所	0	0	0	0		紋別	—	—	0	0	
胆振	本所	0	0	0	0	十勝	本所	0	0	0	0	
	東胆振	0	0	0	0		東部	0	0	0	0	
檜山	本所	0	0	0	0		東北部	0	0	0	0	
	北部	0	0	0	0		北部	0	0	0	0	
上川	本所	0	0	0	0		西部	0	0	0	0	
	富良野	0	0	3.3	0		南部	0	0	0	0	
	大雪	0	0	0	0							
	士別	0	0	0	0.7							
	名寄	0	0	0	0							

注1) — : 調査時期外のため未調査
注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

2. うどんこ病 発生期 並 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、芽室町では平年より早く、長沼町では平年並、訓子府町では平年よりやや遅かった。発生量は、芽室町では平年より多く、長沼町では平年よりやや少なく、訓子府町では少なかった。

一般ほにおける巡回調査結果では、空知、胆振、上川及び留萌地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼	きたほなみ	5月2日	5月3日	10
芽室	きたほなみ	4月28日	5月19日	10
訓子府	きたほなみ	5月15日	5月11日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.00	
		最上-1葉	0	0.01	0	0.00	0	0.03	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.01	0.00	0.08	0.00	0.13	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0.01	0.00	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.04	0	0.03	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0	

一般ほでのうどんこ病の巡回調査結果

普及センター	病葉率(%)				普及センター	病葉率(%)						
	5月3半旬		5月6半旬			5月3半旬		5月6半旬				
	本年	前年	本年	前年		本年	前年	本年	前年			
空知	本所	0.8	0	0	0	留萌	本所	0	0.3	2.5	0	
	南東部	0	0	0	0		網走	本所	—	—	0	0.4
	南西部	0	0	0	0			清里	—	—	0	0
	北空知	0	0	0	0			網走	—	—	0	0
石狩	本所	0	0	0	0	美幌		—	—	0	0	
	北部	0	0	0	0	遠軽	—	—	0	0		
後志	本所	0	0	0	0	紋別	—	—	0	0		
胆振	本所	0	0	0.3	0	十勝	本所	0	0	0	0	
	東胆振	0	0	0	0		東部	0	0	0	0	
檜山	本所	0	0	0	0		東北部	0	0	0	0	
	北部	0	0	0	0		北部	0	0	0	0	
上川	本所	0	0	0	0		西部	0	0	0	0	
	富良野	0	0	0	0		南部	0	0	0	0	
	大雪	0	0	0	0							
	士別	0	0	0	0.3							
	名寄	0.7	0	0.7	0							

注1) —:調査時期外のため未調査
注2) 病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ

発生期 並 発生量 多

予察ほのすくい取りによる成虫の初発期は、長沼町で5月16日(平年:5月18日)、比布町で5月18日(平年:5月20日)と平年並であった。成虫のすくい取り数は、長沼町、比布町ともに平年より多かった。

予察ほにおけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	0	0	—
2半旬	0	3.3	0	—
3半旬	0	20.2	0	3.0
4半旬	45.0	22.7	22.5	13.1
5半旬	163.8	52.5	232.5	72.5
6半旬	152.5	62.4	487.5	152.5
平年数	10		10	

注1) 20回振り×5日分換算値

注2) —は平年値なし

D. てんさい

1. テンサイトビハムシ 発生期 並 発生量 やや多

予察ほにおける被害の初発期は、長沼町で5月2半旬（平年：5月3半旬）、芽室町で5月2半旬（平年：5月3半旬）と平年よりやや早く、訓子府町では5月3半旬（平年：5月3半旬）と平年並であった。被害程度は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシによる食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	1.4	0	0	0	0.3
2半旬	0	1.9	5	0.6	0	0.1
3半旬	0	7.2	9	1.2	1	4.2
4半旬	17.5	15.7	17	2.9	10	8.7
5半旬	20	19.4	24	5.3	18	15.2
6半旬	34	27.9	21	8.9	23	21.0
平年数	10		10		9	

注)ーは未調査

E. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生量 やや多 <5月15日付け注意報第1号発表>

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、長沼町および北斗市で平年より多く、芽室町および訓子府町で平年よりやや多く、比布町では平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	39	1.8	35	37.3	71	12.7	17	4.3	16	0.9
2半旬	13	6.7	4	41.4	27	19.3	11	5.8	4	2.0
3半旬	4	6.8	42	73.8	76	22.4	14	6.9	4	3.1
4半旬	15	7.8	68.7	61.8	38	28.0	6	6.1	0.7	2.9
5半旬	27	15.4	37.3	85.6	26	31.4	6	10.1	1.3	9.3
6半旬	37	20.8	75	49.1	51	43.3	2	8.2	6	12.1
平年数	10		8		10		10		10	

F. りんご

1. モニリア病 発生期 - 発生量 少

長沼町（無防除）と余市町（慣行防除）の予察園では、葉腐れ及び花腐れは認められなかった。一般園における巡回調査結果では、発生は認められていない。

予察園におけるモニリア病の初発期

地点	品種名	防除有無	葉腐れ		花腐れ	
			本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	無	未発生	-	未発生	-
余市町B	昂林	有	未発生	-		

注)調査年数が少ないため、平年値なし。

予察園におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	防除有無	調査時期	花葉叢率(%)			
				葉腐れ		花腐れ	
				本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	無	5月1半旬	0	-	0	-
			2半旬	0	-	0	-
			3半旬	0	-	0	-
			4半旬	0	-	0	-
			5半旬	0	-	0	-
			6半旬	0	-	0	-
余市町B	昂林	有	5月1週目	0	-		
			2週目	0	-		
			3週目	0	-		
			4週目	0	-		
			5週目	0	-		

注)調査年数が少ないため、平年値なし。

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		発病花葉叢数	
		本年	前年
後志	北後志	0	0
胆振	本所	0	0
渡島	本所	0	0
留萌	南留萌	0	0

注) 1樹当たり発病花葉叢数、10樹調査(開花直前)

2. ハマキムシ類 発生期 並 発生量 多

ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化最盛期は、長沼町の予察園で5月7日(平年:5月8日)と平年並であった。開花直前の被害花叢率は33%(平年:14.8%)と平年より高かった。

BLASTAMならびにFLABSの運用について

水稲の葉いもち発生予察システム「BLASTAM(ブラスタム)」による広域発生期判定結果、ならびにばれいしょの疫病初発予測システム「FLABS(フラブス)」による予測結果を防除所のホームページに掲載します。

アドレス(<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>)または「北海道病害虫防除所」で検索してください。

「BLASTAM」では、道内約50地点について、葉いもちの感染好適日を判定します。

「FLABS」では、道内約25地点の農作物生育状況調査ほ場(作況ほ)等の萌芽日をもとに疫病の初発日予測を行います。

「BLASTAM」、「FLABS」とも随時更新していきますので、計画的な防除にお役立て下さい。

令和5年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

守ろう農薬ラベル 確かめよう周囲の状況

- ラベルの確認
適用病害虫と使用方法
作物名 適用病害虫名 希釈倍率
トマト ミニトマト コナジラミ類 2000～3000倍
- 周辺への配慮
農薬散布のお知らせ
〇〇〇〇日 〇時～〇時
場所〇〇〇 目的〇〇〇
農薬名〇〇〇 剤形〇〇〇
- 飛散の防止
- 帳簿に記録
1. 使用年月日
2. 使用場所
3. 農作物名
4. 農薬の種類・名称
5. 使用量・希釈倍率
- 土壌くん蒸剤は必ず被覆
くん蒸中 立入禁止
- 施錠して保管
農薬の適正使用 農林水産省 検索
- 移し替え厳禁

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/ 詳しくはこちら

令和5年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課